

はなぞの

第327号 令和6年11月



11月の生活目標
すすんで働こう

話し合うことの大切さ

校長 川崎 勝久

例年に比べ気温が高い2024年ですが、さすがに朝夕冷え込む季節になってきました。日一日と日が短くなるのを感じるこの頃です。10月24日から26日には学校公開を行い、子供たちが学習をしている様子を見ていただきました。たくさんのご来校・ご参観ありがとうございました。子供たちの頑張りを確認していただけたのではないのでしょうか。

さて、子供たちに「下校後最初に何をしますか？」と質問をすると、「まずは宿題を終わらせる」という子がいました。別の子は「まずは友達と遊んで、その後、家に帰ったら宿題をする」と答えていました。こうした違いは、人それぞれの価値観の違いと表現されます。価値観とは、「何に価値があると認めるか」に関する考え方のことです。価値観は、その人が育った家や環境、学校や学級の様子など、様々な環境や条件に影響されながら、自然と身に付いていくものです。ですから、もともと価値観は一人一人違うものです。

このところ「価値観の多様化」が社会変化の一つとして注目されています。その理由はいくつかあると考えられますが、交通網やインターネットの発達などで、それまで出会わなかった人や事象に接する機会が多くなり、それまで知らなかった価値観に触れるようになったこと。社会の変化のスピードが速くなり、祖父母の世代と親の世代、子供の世代というように、世代ごとに価値観が違ってきただけでなく、価値観が違っていると、どのようなことが起きるのでしょうか？

では、価値観が違っていると、どのようなことが起きるのでしょうか？
相手の価値観を受け入れられない場合には、相手のことを嫌いになったり、自分の気持ちが晴れずにもやもやした気持ちが続きたりします。このことから、けんかになってしまうことも考えられます。グループなどで、一人の価値観だけが否定されてしまうことがあるかもしれません。そうしたトラブルや「いじめ」を防ぐためにも大切なのは「話し合うこと」です。自分の考えや思いを押し付けるのではなく、互いの意見を理解し合うことを心掛ける。すぐに解決できなくても、相手の価値観に気付くことで、事前にトラブルを避ける方法を選ぶこともできます。納得できない時には、その思いを相手に伝え、相手にも自分の価値観について伝え、折り合うための方法を工夫してもらえませんか。

花園小学校では、何かある時やあった時には、先生が一方向的に方向性を出すのではなく、学級等をベースにして「話し合うこと」をととても大切にしています。将来、世界中の多くの人と関わり合いながら生きていく子供たちにとって、「話し合い」活動を通して、問題解決能力を高めていくようにしていきたいと思っています。

外国語・外国語活動について

外国語活動担当

3年生から6年生は週1回、1・2年生と新苑学級は年10回、ALTのレイモンド・リッソ先生と関わりをもちながら、英語や異文化に触れています。子供たちは、覚えた表現や身振り手振りを使って楽しく英語を身に付けようとしています。

今年度からは3年生以上には講師の森村敦子先生が指導に入っています。

毎週火曜日になると、子供たちと先生の元気な英語でのやりとりが聞こえてきます。外国の言葉やその文化に触れ、積極的に外国の方々とコミュニケーションをとろうとする態度を身に付け、国際性豊かな子供たちを育てていくようにしていきます。

ミシンで楽しくソーイング

家庭科専科

家庭科は、生活をよりよくしようと工夫するために必要な知識を学び、実習で実践していきます。食育、着ること、住むことなどの他に、環境問題についても考えます。

1学期は、調理実習やキューピーマヨネーズ教室などで、食育の大切さを学びました。2学期は、ミシンを使って、自分で使うものを製作しています。

5年生は、「エプロン」。布を裁ち、しつけ縫いをし、初めて学ぶミシンでまっすぐに縫っていきます。ミシンへの糸のかけ方は難しいところですが、皆で協力して進めています。

6年生は、「ナップザック」。厚手のキルティング生地は、扱いが難しいのですが、去年の学習を生かして、上手にミシンを操作しています。

どちらも、完成したら日常生活で大活躍しそうです。

<教室の窓> 3年生

花園小学校で一番人数の少ない13名の3年生ですが、遊ぶときは元気に遊び、授業中は落ち着いて学習を進めています。

総合的な学習の時間では、「地域安全マップ」づくりに取り組んでいます。防犯の面で危険なところはないか、実際に地域を歩いて自分たちの目で確かめています。また、勇気を出して道行く人にインタビューをしたり、タブレットで写真を撮ったりして、学習活動に取り組んでいます。まだまだ発表できる段階ではありませんが、子供たちのこうした努力が、「地域安全マップ」として完成できるよう担任も一緒に頑張っていきたいと思っています。

特別支援学級合同移動教室を終えて

新苑学級担任

9月19日(木)～20日(金)に、4・5・6年生は河口湖合同移動教室に行ってきました。昨年度までは、長野県の女神湖に行っていたため、河口湖への移動教室は今年度が初めてとなります。

合同移動教室では区内5校(花園、愛日、東戸山、柏木、落合第二)の特別支援学級が交流をしながら、寝食を共にします。今年度も、児童数70名ほど、教員等の大人を含めると100名ほどが参加しました。

合同移動教室は、交流や思い出作りといった目的もありますが、一番は親元を離れ、自分のことを自分で行うための自立の練習として行っています。新苑学級でも、事前に子供たちに「かっこいい大人になるため、誰とでも仲良くできるようになるため」に河口湖に行くことを伝え、みんなで目標を考えました。その時に出了意見を5つの目標「①あいさつ、②一生懸命、③仲良く優しく、④時間を守る、⑤自分のことは自分です」として、事前学習から取り組みました。事前学習では、行程の把握、荷物の出し入れ・管理、布団の敷き方、お風呂の入り方、買い物の仕方、自分の役割の練習等に取り組みました。

移動教室当日には、牧場でのバター作り体験、乳しぼり体験、ヤギや羊との触れ合い、5校での交流会、船での河口湖周遊、おみやげの購入などイベントが盛りだくさんで、みんなとても楽しそうでした。もちろんホテルでの、お風呂、就寝準備、次の日の準備等、自分のことを自分ですることもよく頑張っていました。

4年生は初めての、6年生は最後の移動教室でした。6年生はさすがに慣れた感じが見られました。4年生は、初めて親元を離れる子も多い中、寂しくなってしまうたり、眠れなかったりすることなく、楽しく2日間を過ごせて立派でした。

みんなで決めた5つの目標、そして移動教室に向けての練習は、将来の自立に向けてこれからもとても大切となる力です。ぜひこれで終わりとせず、引き続きご家庭でも練習を続けていただけたらと思います。


